

☆後期（10月～12月）で学年実践を行う場合

学びのコンパス研修日（9月24日、10月8日、10月22日、11月19日）を活用し、どの単元で実践を行うか相談し、12月3日までの学びのコンパス研修日までに学年実践を振り返る。

3 教職員が学び合うために

低・中・高学年部会に分かれる。子どもの実態を引き継ぎ、実際に実態をつかんだ後、学年との対話を重ねながら子どもたちが学び合うために何ができるか考えていく。そして、互いの実践を情報交換したり、見合ったりしていく機会を取るために、「ここだけは見てほしい」というポイントを提示し、5分でも10分でもいいので、互いの授業を見合うことができるようにしたい。

4 努力点推進の方法

(1) 研究の進め方 前期（～9月末）、後期（10月～12月）

ア 1人1授業実践

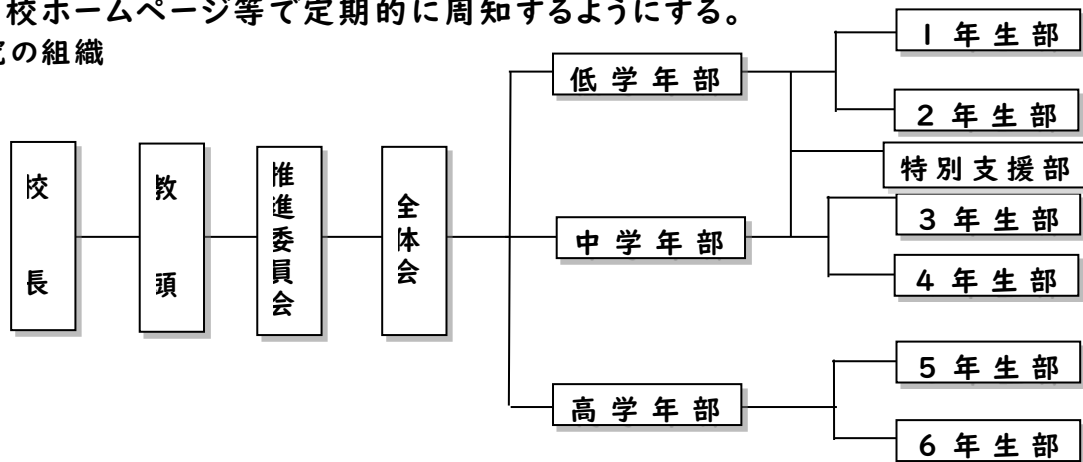
☆ 指導案は作らず、授業を実践する日が全職員に伝わるよう、出退校スペースのところに、3日前までに掲示して周知する。

☆ 事後検討会は、学年の先生方で振り返り、学びのコンパス研修日等で、他の学年の先生方へ紹介できるようにしておく。

イ 保護者への周知

授業実践での取り組みの様子を、写真を効果的に活用して、学年だより・学校だより学校ホームページ等で定期的に周知するようにする。

5 研究の組織



※養護教諭、校務主任、は4年生部会に、専科教諭は、6年生部会に所属する。

6 年間計画

4～5月	研究方向の決定 研究テーマ・研究内容・研究方法の検討 実践計画、具体的な指導の工夫を考案	4/1 努力点推進委員会 4/4 努力点全体会 4月中 努力点計画書提出
6月	努力点への取り組み(前期)	授業・実践研究
7～9月	具体的な指導の工夫の仕方を修正	9月中間報告会
10～12月	努力点への取り組み(後期)	授業・実践研究
1月	実践のまとめ 成果報告会	1/19 努力点全体会
2～3月	来年度の計画	3/9 努力点推進委員会

※ その他必要に応じて努力点部会を開く。